

大使館からのお知らせ

【お願い】領事サービス向上・改善のためのアンケート調査実施について

日頃より当館領事行政サービスをご利用いただきましてありがとうございます。当館では、担当地域内に在住されている邦人の皆様から当館の領事行政サービスに対する評価、ご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

つきましては、11月9日から22日の間、専用HP (<https://www.deliver.mofa.go.jp/m?f=1262>) にてアンケート調査を実施いたしますので、ご協力いただけますようお願い申し上げます。なお、アンケート調査結果の概要は、外務省ホームページに後日掲載される予定です。

【生活情報】自然災害等に備えた食料品等の備蓄について

昨今、世界各地で大規模地震や火山噴火、洪水などの自然災害が発生しております。このような災害はいつ、どこで発生するか予想が困難であり、日頃から災害に備えて食料品等を備蓄しておくことが重要です。

災害により水道、電気、ガスなどのインフラが断絶したり、店舗から食料品等の在庫がなくなること想定して、飲料水（1日3リットル／人）、肉や魚などの缶詰、ビスケットやクッキー類、パスタ類、シリアル類、スープ類、インスタント麺類など、1週間分程度の食料品や飲料水を日頃から備蓄するようお勧めいたします。

また、非常時の持ち出し品として、多少の現金、懐中電灯、乾電池、携帯ラジオ、救急セット、常備薬、タオル、トイレットペーパー、ウェットティッシュ、着替え（下着）、マスク、ビニール袋、雨具、非常食、飲料水等をリュックタイプの袋にまとめ、ヘルメットや靴と一緒に取り出しやすい場所に保管しておくこともお勧めいたします。不測の事態に備えて、日頃から対策を心がけましょう。

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「弁護士の男性、銃撃されて死亡」

10月1日午前11時45分、サンホセ県サンホセ市サポテにおいて、タクシーに乗車していた65歳の弁護士の男性がバイクで近付いてきた男から銃撃されて死亡した。死亡した男性は麻薬関係の事件の弁護をしていたため、事件絡みで殺害されたものとみられている。

「25歳の男性、銃撃されて死亡」

10月1日午後6時40分、サンホセ県サンホセ市パソアンチョにおいて、25歳の男性がバイクに乗った2人組の男に銃撃されて死亡した。死亡した男性は条件付仮釈放中であった。

「コロンビア人の男性2名、銃撃されて死亡」

10月3日午後7時55分、サンホセ県サンタアナ市において、25歳から30歳とみられるコロンビア人男性が帰宅したところ、待ち伏せしていた者に銃撃され、2人とも死亡した。

「55歳の男性、銃撃されて死亡」

10月4日午後6時30分、リモン県マティーナ市において、55歳の男性が自宅にいたところ、3人の男が侵入し、男性に向けて銃で5発撃って逃走した。男性はまもなく死亡した。一緒にいた家族は全員無事であった。死亡した男性は企業5社の役員を務めていたが、犯人は何も盗らずに逃走しており、強盗目的の犯行ではないとみられている。

「34歳の男性、銃撃されて死亡」

10月4日午後7時、アラフエラ県アラフエラ市にあるバーにおいて、34歳の男性が別の男性と口論になり、銃撃されて死亡した。

「21歳の男性、強盗に銃撃されて死亡」

10月9日午前5時30分、エレディア県フローレス市において、21歳の男性が2人組の強盗に襲撃され抵抗したところ、銃撃されて死亡した。

「34歳の男性、74発銃撃されて死亡」

10月9日午前8時30分、サンホセ県サンホセ市サンフランシスコ・デ・ドス・リオスにおいて、34歳の男性が夫人と一緒にタクシーに乗っていたところ、タクシーの前に停まった車から降りてきた2人の男にAK-47銃で74発銃撃された。男性は死亡、夫人とタクシー運転手の男性は重体で病院へ搬送された。死亡した男性はリモン地域で活動する麻薬組織に属しており、7月3日には同組織のリーダー格の男性がリモン市内で銃殺されている。

「38歳のパナマ人男性、銃撃されて死亡」

10月10日午後6時23分、プンタレナス県コレドーレス市において、38歳のパナマ人男性がバイクに乗った2人組の男に10発銃撃されて死亡した。犯人はパナマへ逃亡したとみられている。

「20歳の男性、銃撃されて死亡」

10月10日午後11時、サンホセ県デサンパラードス市の公道において、20歳の男性が4人の男から4発銃撃されて死亡した。

「23歳の男性、銃撃されて死亡」

10月11日午前1時、サンホセ県クリダバ市の公道において、23歳の男性が銃撃されて死亡した。

「38歳の男性、銃撃されて死亡」

10月11日午前3時30分、リモン県ポコシ市カリアリにあるバーの駐車場において、38歳の男性がバイクに乗った2人組の男に銃撃されて死亡した。男性は以前ニカラグアに住んでいた際、ニカラグア人の夫人の殺害容疑で逮捕されたことがあり、犯罪絡みで殺害されたとみられている。

「警備員の男性、強盗に銃撃されて死亡」

10月11日未明、エレディア県エレディア市にあるレストランにおいて、同店の警備員である38歳の男性が強盗に銃撃されて死亡した。強盗は店内から液晶テレビ等を盗んで逃走した。

「48歳の男性、強盗に銃撃されて死亡」

10月15日、プンタレナス県サンビート市において、48歳の男性が自宅にいたところ、強盗が車両を盗もうとしているのを発見し、椅子を投げつけるなどして抵抗したところ、強盗に銃撃されて死亡した。強盗は現金20万コロン、パソコン等を盗んで逃走した。

「20歳の男性、銃撃されて死亡」

10月18日午前0時、グアナカステ県バガセス市にあるバーにおいて、20歳の男性が銃撃されて死亡した。

「4人の男性、銃撃されて1名死亡、1名重体」

10月18日午前5時、カルタゴ県カルタゴ市において、26歳と23歳、年齢不詳の男性2名の計4名が車で移動中に近付いてきた車から銃撃された。26歳の男性が死亡し、23歳の男性は重体で病院へ搬送された。

「33歳の男性、死体で発見」

10月18日夜、プンタレナス県パリータ市において、警察への匿名の通報により、海岸に埋められていた男性の死体が発見された。死体は33歳の男性とみられ、手足をロープで縛られ、銃で3発撃たれた痕があった。20日に4人の男が男性殺害の容疑者として逮捕された。

「36歳の男性、銃撃されて負傷」

10月20日午後1時、カルタゴ県カルタゴ市において、36歳の男性が自宅から出たところで男に5発銃撃されて負傷した。犯人はタクシーで逃走し、しばらくしてタクシー運転手の男が逮捕された。

「34歳の男性、銃撃されて死亡」

10月21日午前5時5分、サンホセ県ゴイコエチエア市グアダルーペにおいて、34歳の男性が条件付仮釈放者の夜間収容施設から出たところ、背後から銃撃されて死亡した。男性は、9月に強盗の現

行犯で逮捕され、条件付仮釈放処分を受けていた。

「23歳の男性、死体で発見」

10月22日午前4時45分、サンホセ県サンホセ市バリオクーバにあるフットサル場において、23歳の男性の死体が発見された。死体には18発の弾痕があった。

「33歳と18歳の男性、銃撃されて死亡」

10月23日午後6時56分、リモン県ポコシ市において、33歳と18歳の男性が自宅にいたところ、複数の男が侵入して2人を銃撃した。男性2人は死亡した。

「48歳の男、元恋人を銃殺して自殺」

10月25日午前3時、プンタレナス県ゴルフート市において、48歳の男が元恋人の女性を銃撃して殺害した後、首を吊って自殺した。

「3歳の女儿、銃弾を受けて重体」

10月26日午後2時30分、エレディア県エレディア市グアラリにおいて、男性が自宅にいたところ男2人が訪ねてきたため、知人の子ども（3歳女儿）を抱いて外に出た。直後、男2人が男性に向けて発砲し、女儿が銃弾を2発受けて重体となり病院へ搬送された。

「44歳の男性と23歳の女性、銃撃されて死亡」

10月29日午後6時3分、サンホセ県サンホセ市サポテにおいて、44歳グアテマラ人と23歳コスタリカ人の夫婦が車で走行中に近付いてきた2台のバイクに乗った男から銃撃されて2人とも死亡した。

「農場から3人の死体発見」

10月31日、サンホセ県ゴイコエチエア市の農場から3人の死体が発見された。死体はいずれも深さ1.5メートルの穴に埋められており、付近には薬きょうや血痕が残っていた。死体のうち、1人はバス・トラックの運転手をしていた40歳の男性とみられているが、残り2人については身元不明で捜査が続けられている。所持品が残っていたことから強盗目的の犯行ではなく、犯罪等に関係して殺害されたとみられている。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで